

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年3月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4674800177号
法人名	有限会社ファースト・ケア
事業所名	グループホームいこい
所在地	鹿児島県出水市高尾野大久保1432-1 (電話) 0996-82-5537
自己評価作成日	平成24年2月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者個人の思いを尊重し、家族の方と連携を取りながらケアに努めている。また、色々な行事を取り入れ、遠足やドライブ、地域の催しなどに積極的に参加し、色々な方々との交流を図っている。日々の業務も大事だが、なるべく利用者様とゆっくりお茶をしながら話をしたり、散歩に出かけたりなど利用者、職員がともにゆっくりと過ごせる環境づくりに努めている。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月2日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同施設内にグループホームと認知症対応型デイサービスセンターが併設されており、利用者と職員間の交流がスムーズにできている。デイサービス利用者がホーム入居者となる例が多く、なじみの関係継続の支援にも繋がっている。法人の理念とホーム独自の理念を玄関、廊下、トイレ、休憩室等に掲示しており、利用者中心のケアについて共有している。介護するという一方的な意識ではなく、介護をさせていただくという気持ちや、ともに暮らす家族のような関係を持てるよう団らんの時間を多く設けている。利用者のこれまでの暮らしの把握に努め、持っている本人の力が発揮できるような環境の提供がなされ、穏やかに生活できるよう配慮されている。グループホームのリビングは手狭なため、併設のデイサービスセンターを使って利用者合同のレクリエーションや体操など楽しんでいる。管理者は市の認知症サポーター養成講座や勉強会に講師として尽力し、併設のデイサービスセンターを開放することで地域の認知症啓発や介護職員のレベルアップに貢献している。施設内で犬を飼うことで、利用者のアニマルセラピーに活かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員全員で法人の理念とホームのケア理念を掲げている。玄関、廊下、休憩室などに掲示し、日々のケア実践に取り組んでいる。	全職員で話し合い、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念をホーム独自に作成している。法人の基本理念とともにホーム内や職員トイレなどに掲示し、毎日意識しながら実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の高校生の受け入れや、ボランティアの方々の受け入れをしている。また、おやつの中には近くの喫茶店に出かけたり、コンサートなどにも参加している。併設しているデイサービスとの交流も持てるよう連携を図っている。	市の認知症サポーター養成講座やヘルパー実習の受け入れ、高校生の実習受け入れなどで地域と交流している。犬の散歩を通して地域の方々と挨拶や会話を交わすことや、野菜などのおすそ分けもある。地域マラソン時は応援者の駐車場としても提供している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地元の高校生の受け入れや、ボランティアの方々の受け入れをしている。また、おやつの中には近くの喫茶店に出かけたり、コンサートなどにも参加している。併設しているデイサービスとの交流も持てるよう連携を図っている。認知症サポーター要請推進の協力要請にも参加し、地域の方々に認知症をより理解してもらえるよう取り組んでいる。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政関係者、民生委員、自治公民館長、家族代表などの参加を得て定期的に開催している。地域の情報や災害対策のアドバイスなどをもらいながらサービスの向上に生かしている。	利用者の現状や活動状況やヒヤリハット報告、ホームの災害対策について話し合いを行っている。ホームの災害対策についての助言や地域協力の重要性を認識する機会となっており、サービス向上に活かしている。		

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市の担当者に事業所の現状報告、相談や情報交換を行い、協力関係を築けるよう取り組んでいる。</p>	<p>ホームに介護相談があれば包括支援センターに報告している。運営推進会議にも市職員の参加をもらい、相談、報告などで協力関係を築いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者個人のケアに努め、ミーティングや勉強会などで話し合いを持ち身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関に「身体拘束排除宣言」を掲示し、身体拘束の無いケアに努めている。本人の思いや身体の力を生かしながら鍵をかけず安全に過ごせる工夫を重ねており、職員間の連携、見守りの強化によって身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を開催し虐待について理解を深め、見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度について学ぶ機会が少なかったが、ミーティングなどで個人のケアに必要性がある場合は、関係者と話し合い活用できるよう支援していきたい。</p>			

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、利用者と家族に説明し、家族側の不安や疑問点を尋ね、理解、納得を図っている。解約時は、次のサービスが不安なく受け入れられるように配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置、面会時や家族会時に意見を聞く機会を設け、出された意見、要望については運営に反映させられるように職員間で話し合っている。	ホーム便りを毎月作成している。家族とはなじみの関係が築かれていることもあり、職員を通して相談ごとの情報が入りやすい状況である。職員も利用者や家族に、面会時や家族会などで気軽に意見が言えるよう関わりを持っている。要望などには可能な限り応じられるよう対処している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、必要に応じて代表者に伝えている。伝えた意見を確認し反映できるように今後も努めていきたい。	毎月全員参加のミーティングやケア会議を行い、職員からの意見や提案を聞いている。職員からの声が夜勤時の不安軽減対策になるよう、ホームセキュリティとの契約をする改善につながった例もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	統括が常勤しており、必要に応じて管理者は相談し代表者に伝えてもらっている。働きやすい職場づくりに努めている。		

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が外部研修を受ける機会を確保し、研修報告を行い共有している。事務所内勉強会では、職員の意見を取り入れ職員が向上心を持って参加できるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会にも加盟し、会合や研修に参加し交流を図っている。他施設の職員研修を受け入れ、お互いのサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談にて生活状態を把握するよう努めたり、家族から今までの生活歴やご本人の興味のあること、嗜好などのお話を聞かせていただき、本人に合った心身の状況や思いに向き合い受け入れられるような関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前までのご家族の苦労や経緯について話を聞くようにしている。また面会時に要望などについて話を聞く機会を作り、信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までにケアマネージャーや本人、家族との相談やアセスメントの中で必要に応じて他のサービスの検討をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護するという一方的な意識ではなく、介護をさせていただくという気持ちや、ともに暮らす家族のような関係を持てるよう団らんの時間を多く設けたりしている。		

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の思いや様子をきめ細かく伝え、職員はご本人と一緒に支える家族と同じような思いで支援していることを伝えている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域で暮らすなじみの知人、友人に会いに行ったり、以前入居されていた方の家を訪問するなどして関係が切れないう、支援に努めている。なじみのあるデイサービス利用者とも交流が継続できるよう支援している。	知人、友人などの家に遊びに行ったり、行きつけの喫茶店・美容院やなじみのデイサービス利用者との交流継続支援をしている。墓参り、自宅訪問や地区の敬老会参加、選挙の投票など、家族と連携しながら支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	心身の状態や気分、感情で日々変化することもあるので注意深く見守り、利用者同士の関係がうまくいくように職員が調整役となって支援している。			
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	面会や写真を届けたり折にふれてご家族へ電話で状態を伺ったりしている。また、在宅サービスを受けている方については、居宅支援事業者と連絡を取り合うこともある。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から聞ける言葉に加え、日々の会話の中から本人の思いをくみ取り把握するように努めている。なるべく本人の立場に立って考えるようにしている。	日常の会話、日々の行動や表情から思いをくみ取るようにしている。利用者の嫌がることや好む事などをとらえ本人本位に検討し、本人の思いに沿ったケアを心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族などからアセスメントを行い、これまでの暮らしについて把握するように努めている。把握した内容は書面化し、スタッフ全員で共有できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に一人ひとりの一日の過ごし方や状態に目を向け、どんなことをされたか記録したり、新たに発見したことについて、スタッフ全員が共有しケアに生かすようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーだけの意見にならないようにミーティングなどでスタッフとケアについて話し合ったり、家族や本人と話をしながら計画を作成している。	本人の得意な事や好きな事をプランに入れ込み、一日を楽しく生きがいを持って暮らし続けるための個別の介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践などを通し、スタッフと情報共有しながら見直しを図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ利用者やそのご家族の送迎サービスや病院受診、外出や買い物などの介助を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	午後から犬の散歩にスタッフとともにいき、地域の方との交流をしたり、なじみの美容室があればお連れしたりと、なるべく地域資源とのかかわりを持つよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族から意見を伺った上で主治医を決定し受信していただいている。また、かかりつけ医には状態に応じて十分に連携できるように、日曜日でも連絡をとって対応して頂くとしている。往診も行っている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の支援を行っている。協力医療機関とは24時間連携が図られている。	

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の資格を持っているスタッフに相談したり、かかりつけの病院と連携をとりながら健康管理を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は病院と連絡を取り合い、情報交換を密に行うよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態の変化に伴い、ご家族関係者と連絡を取り合い、相談しながら今後の対応について話し合いの機会を持つようにしている。</p>	<p>入居時にホームでできる支援について説明し、家族の希望を聞いて経過記録に記載している。個々の身体状況に応じて医師の指示のもとで家族と方向性を決め、ホームでできる最大限の支援を行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針を職員や関係者と、職員の力量、体制を見極めた上での十分な話し合いを持ち、確立・文章化することが期待される。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングにて、急変時の対応について勉強したり、書面化（マニュアル化）しいつでもスタッフがみれるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回ほど、火災、地震想定避難訓練を行い、消防署より避難方法についての実習を受けている。また、地域の方々にも参加していただいている。</p>	<p>併設のデイサービスと合同で自主訓練も含め、年2回避難訓練を行っている。ホームセキュリティとの契約をしている。スプリンクラーも設置済みで、非常用の食品も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけや対応に気をつけている。スタッフ同士互いに気をつけ、気になる対応をした際は注意し合っている。	外部研修に参加し復命研修を行っている。日常の業務のなかでも注意し合って資質向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせた話し方や説明を行うように対応している。また、本人の思いや希望を生活の様子の中や会話を通し、汲み取れるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせた介護を行うという意識を持ち支援を行うよう努めている。必ず本人にどうしたいか聞くようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替える際、本人が望む洋服を選んで着ることができるよう支援している。また、口紅を塗ったりなどお化粧の支援もしている。なるべくご自分でできるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日や行事などのお祝いごとには、巻き寿司や利用者がリクエストされるものをなるべくお出しし、楽しんでよくじしていただけるよう努めている。夏はバーベキュー、冬は鍋など季節に応じた食事環境づくりの工夫もしている。	共用空間が台所に面している事もあってできる利用者は調理にも参加している。和やかな食事風景である。弁当持参の遠足や外食、喫茶店で飲み物、ケーキを楽しむこともある。	

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に応じ、食べやすい大きさに切ったり、甘い飲み物にて水分を取っていただいたりと工夫している。毎回の食事チェック表にて食事量、排便回数が把握できるようになっている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後は口腔ケアの支援をしている。ご自分でできる方に関しては見守りにて行っている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い、ご本人のパターンをつかみ、その人に合った支援を行えるよう努めている。誘導の時間やおむつの使用についても、ミーティングなどで職員みんなと話し合いケアの統一に努めている。	個々の羞恥心に配慮した声掛けをおこない、さりげなく誘導している。日中はポータブルは居室には置かず、夜間のみ置くよう配慮している。自立している利用者もおり、継続できるように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向にある利用者へ、水分を多く取って頂いたり運動やマッサージを行っている。必要に応じ下剤の服用も行っている。			

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日を設定し入浴していただいているが、その日に応じて入浴日以外でも利用できるようにしている。順番についても意見を重視している。	週3回を目安にし、時間帯は希望に沿って支援している。入浴剤やゆず、ぼんたんなどを使用することもある。家族が温泉に連れて行く利用者もいる。清拭や足浴なども取り入れ気持ちよい生活ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の思いや様子をきめ細かく伝え、職員はご本人と一緒に支える家族と同じような思いで支援していることを伝えている。状態をみて休息を促したり、夜の安眠を支援できるよう、レクリエーションやドライブなど、昼間の活動に誘ったりしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作るい、理解するとともに確認できるようにしている。服薬の変更などは特に申し送りにて内容なども伝えるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌などの楽しみや、洗濯物、おしぼりをたたんだりという作業に積極的に参加していただけるように支援し、居室にほうきやちりとりを置き、職員と一緒に掃除をしたり、シーツ交換など手伝っていただいたりしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、散歩、ドライブなど本人の希望に沿った外出援助を行っている。春から秋にかけては戸外で過ごす時間も長く、出かける機会も多い。	日常的には散歩、ドライブ、買いもの同行している。喫茶店や外食に出かけることもある。市の音楽ホールにコンサートを聞きに行ったり、鶴の見学や初詣、季節の花見など楽しんでいる。個別に孫の結婚式や墓参り、仏壇参りなどの支援もしている。	

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>財布、現金を持っていただけるようご家族にも理解を求め、できるだけ買い物の支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状や、暑中見舞いなどできるだけ買い物の支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を花瓶にさしたり、廊下には、楽しんでいただいた行事の写真を展示するなど配慮している。また、なるべく、雑音を避けるように配慮している。</p>	<p>リビング兼台所になっており、少ないスペースながらも中庭へ自由に出入りできる設計にし、犬と共に中庭での生活も楽しめる工夫をしている。ホームの至る所に生活感や季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂の席など、会話がスムーズにできるように設定して、不都合が生じた場合は、早急に配慮して場所の検討ができるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホームいこい

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が、自体で使用されていたものを持ち込んでいただいたり、自宅になるべく近い状況で生活していただけるように入居時に家族に説明している。</p>	<p>仏壇や使い慣れた家具など持ち込み、本人が自宅で過していたままの生活環境を維持している。利用者の思いに沿った生活環境を整え、居心地よく過せるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者のわかる力を生かせるように、ケアに対して率先して手を出すのではなく、待つ本人の力を発揮していただけるような援助を行えるよう努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない